

「5・GOマーケット」とTシャツエコバッグのお話

校長 松本 雅史

先週の終わりから急に涼しさを通り越して寒くなってきました。皆さん、風邪をひかないように、手洗いうがいをしっかりしましょう。そして、外で元気に遊んで、寒さに負けない強い体をつくりましょう。

一昨日の土曜日には、青少対の「5・GOマーケット」がありました。手作りの品や楽しい手作りゲームなど、素敵なお店がずらっと校庭に並びました。大切な自然や動植物を守ろうという募金活動や、災害が起きたときにトイレをどうするかという段ボールトイレについて学べるコーナー、小平SDGs研究会の方々の「バトンBOX」もありました。お店の活動の後に、体育館で五小合唱団のミニコンサートもありました。合唱団は、発足してまだ半年ですが、毎日とても楽しく練習に励んで、歌声を磨いてきました。音楽会でもみんなで歌う「歌の鼓動」などを披露しました。本当に素晴らしい歌声でした。五小合唱団のみなさん、本当にお疲れ様でした。ありがとうございました。そして、コンサートの後に校庭でパン食い競争や綱引きをして楽しみました。午後からの一日、本当に楽しく思い出に残る時間でした。

この「5・GOマーケット」では、4年生が「Tシャツエコバッグ」の製作販売も行っていました。これは、もう着なくなったTシャツを使って、お買い物などに使えるエコバッグを作ろうというものです。自分がお世話になったお気に入りのTシャツだけど、もう小さくて着られないよということはたくさんありますね。そのお気に入りの思い出のTシャツが、エコバッグとしてよみがえるのです。着なくなった服を別のものに作り替えて役立たせようというのは、とても素晴らしい発想ですね。そして、このTシャツエコバッグには、地球を救おうという願いも込められているのです。

皆さんは、世界中でプラスチックがとても問題になっているのを知っていますか。落ち葉や野菜くずなどは、最後は土にかえります。世の中のものは、最後は自然にかえるのです。そうして、何億年も地球は自然を保ってきました。人類が

地上に現れてからも、その全ては自然にかえるという循環は変わりませんでした。

しかし、プラスチックが開発されてから様子が変わりました。プラスチックは、とても分解しにくく、自然にかえらないのです。プラスチックは粉々になっても、プラスチックのままです。土も川や湖の水も、そして深い海の底にまでプラスチックがたまってきているといいます。プラスチックのストローが鼻に刺さったウミガメの写真を見たことがあるでしょう。南の海では、クラゲのようにたくさんのスーパーなどのレジ袋やプラスチックが漂っています。小さく粉々になったプラスチックをマイクロプラスチックといいます。これを魚が食べます。そして、その魚を動物や人が食べます。それによる健康への影響がとても心配されています。

ですから、できる限りプラスチックを減らそうということを世界中で始めているのです。先日私が入ったレストランでは、プラスチックでなく紙のストローを使っていました。スーパーでもレジ袋でなく、それぞれが買ったものを入れるエコバッグをもってきましょうと呼びかけています。

今回の4年生のTシャツエコバッグは、できる限りプラスチックを減らそうということと、使わなくなったものを生かしていこうという2つの大切な思いが込められたとても素晴らしい取組です。実は、このTシャツ集めには、近隣の幼稚園や保育園にも協力を呼びかけました。もちろん4年生の子ども達が自分で幼稚園の園長先生に電話をし、子どもたちが園にお願いをしに行ったのです。「何とかしたい」という思いで行動したのです。今回ご協力いただいたのは、花小金井幼稚園、花小金井愛育園、りんどう幼稚園です。幼稚園からもたくさんのTシャツが集まりました。

このTシャツエコバッグの取組は、「5・GOマーケット」が終わった後も、花小金井図書館と連携して引き続き行っていくということです。素晴らしいですね。

今週は、いよいよ皆さんが楽しみにしている「五小SDGs フェスティバル」です。工夫と手作りの真心で、皆さんの知恵がたくさん詰まった楽しいフェスティバルにしていましょ。







